

2025 年度 神戸市政策会議 概要

開催日時	2025 年 9 月 5 日（金）13 時 00 分～13 時 30 分
出席者	市長、副市長、企画調整局長、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、行財政局長、行財政局副局長、行財政局財務課長、文化スポーツ局長、文化スポーツ局副局長、文化スポーツ局スポーツ企画課長、文化スポーツ局文化交流課長、文化スポーツ局文化交流課課長
議題	若手アーティストの活動支援
提案概要	○人口減少や地域コミュニティの希薄化が進む中、日常的にアートに触れられる機会を増やし、若手アーティストが地域とともに育ち、地域を育てる存在となるよう、官民が連携してその活動を積極的に支援する必要がある。 ○具体的な支援策として下記 3 点を提案。 （１）「サブウェイミュージアムプロジェクト」の全駅展開 （２）空き店舗・空き区画を活用した連携・発信拠点の整備 （３）若手支援に特化したアートプラットフォームの検討 ＜「サブウェイミュージアムプロジェクト」の全駅展開＞ ・地下鉄海岸線において、若手アーティストの作品展示を全駅で展開。 2025 年 8 月～9 月 三宮・花時計前、旧居留地・大丸前、ハーバーランド、中央市場前、新長田 2026 年 みなと元町、和田岬、御崎公園、荻藻、駒ヶ林 ・展示アーティストは神戸・兵庫・関西圏にゆかりのあるアーティストを若手（40 歳以下など）中心に選定。 ・展示作品に二次元コード（QR コード）を配置し、オンライン販売サイトへ誘導。手に取りやすい価格帯（10 万円以下）を中心に販売。 ＜空き店舗・空き区画を活用した連携・発信拠点の整備＞ ・地域の空き店舗や空き区画（3 か所程度）をアトリエやギャラリー利用できる仕様に整備。若手アーティストと地域の連携・発

	信拠点として活用。 ・整備は若手アーティストの活動を応援したい企業を募り、マッチングファンド方式での実施を想定。 <アートプラットフォームの検討> ・若手アーティストの支援を目的に、地域で主体的に取り組まれている芸術団体や地域の制作拠点をつなぐ橋渡し役として、多様な芸術団体やアーティストの伴走役となり、官民支援の受け皿となる、若手支援に特化したアートプラットフォームの創設を検討する。 ・令和８年度に市内芸術団体と連携したプレアートイベントを実施。 ・運営経費については、ガバメントピッチなどを活用し、若手アーティストの活動を応援したい企業の寄付を募り、官民によるマッチングファンドでの実施を想定。
会議結果 (主な意見等を含む)	(１)(２)の方向性については了。 (２)は、整備箇所の展開について、各局が保有する既存ストックや空き空間を有効活用し、郊外の再生や地域の活性化に繋げるという視点で検討すること (３)は、課題解決の手段として、アートプラットフォームの創設が妥当であるかどうかを検討すること。次年度予算の編成においては、組織形態や、具体的な活動内容を明確化したうえで、提案を行うこと。